

The 18th International Conference on METAL FORMING 2020

豊田工業高等専門 機械工学科

講師 浅井 一仁

(2019年度 国際会議等参加助成 (若手研究者枠) (後期) AF-2019080-Y2)

キーワード：塑性加工，国際会議

1. 開催日時

2020年9月13～16日

(動画の視聴は18日まで)

2. 開催形式

WEB講演(オンデマンド形式)

3. 国際会議報告

3.1 概要

Metal Forming 2020は、塑性加工の分野における国際会議である。当初、AGH 科学技術大学での開催が予定されていたが、コロナの影響により、5月頃 オンライン上での開催に変更された。それに合わせて、7月後半までに講演者は、自分の講演を動画にし、それをアップロードし、会議の期間中、視聴できる形式で開催された。

3.2 研究発表

本会議は、基調講演(Keynotes)と6つのセッション(Materials, Manufacturing Methods, Processes, Session in Honour of Prof. Reiner Kopp 80th Birthday, Process and systems modeling, Deformation Mechanics)からなり、Keynotesでは4名の講演、Materialsでは23名、Manufacturing Methodsでは21名、Processesでは31名、Session in Honour of Prof. Reiner Kopp 80th Birthdayでは13名、Process and systems modelingでは25名、Deformation Mechanicsでは23名の計136名の講演が行われた。Keynoteの発表時間は40分、その他は20分であった。

質疑応答では、主催側より、質疑応答の日時が講演者に伝えられ、その日時にチャットを利用して質疑応答を行った。私は日本時間の9/15(火)17:00-18:30と9/16(水)23:00-24:30に質疑応答の時間が設けられた。

今回、オンデマンド形式ということで、通常であれば時間が重なり聞くことができなかった講演や1回きりの講演が、期間中なら都合の良い時間に何度も視聴することができるため、非常に有意義であった。その一方で、活発な議論や情報交換を行うことの難しさを感じた。講演期間中では、講演の動画だけでなくAGH大学やクラコフなどに関する動画もアップロードされ、紹介されていた。

この会議に投稿し、受理された論文は国際学術誌“Procedia Manufacturing”のVol. 50に掲載された。

謝 辞

本会議への参加にあたり、公益財団法人天田財団からの国際会議参加助成をいただきました。ここにお礼申し上げます。